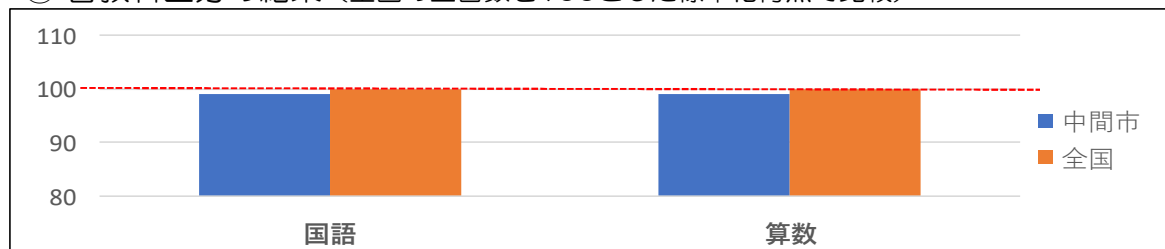


1 小学6年生の状況

① 各教科区分の結果（全国の正答数を100とした標準化得点で比較）



② 調査結果について

小学6年生の平均正答率は、国語、算数ともに全国平均とほぼ同程度でした。国語では、「書くこと」の内容で、算数では、「図形」の領域で全国平均を上回るなど成果が見られました。

一方、国語では、「読むこと」や「言葉の特徴や使い方に関する知識・技能」の内容、算数では「変化と関係」や「データの活用」の領域に課題が見られました。

なお、今年度、正答率（全国との比較）等から成果と課題が見られた問題は以下のとおりです。

【国語】

- 目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題（正答率63.1%【全国56.6%】）
- 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉える問題（正答率60.1%【全国66.9%】）
- 漢字を文の中で正しく使う問題（正答率38.0%【全国43.4%】）

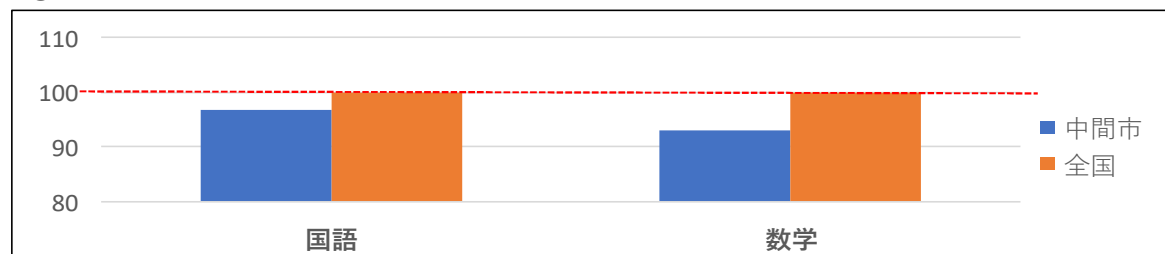
【算数】

- 直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解する問題（正答率75.7%【全国71.3%】）
- 速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察する問題（正答率64.6%【全国70.0%】）
- 簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分析整理する問題（正答率68.8%【全国73.3%】）

〔○成果、●課題〕

2 中学3年生の状況

① 各教科区分の結果（全国の正答数を100とした標準化得点で比較）



② 調査結果について

中学3年生の平均正答率は、国語、数学ともに全国平均に及びませんでした。しかし、昨年度に比べると正答率が上昇し、全国平均に近づきました。

国語では、「話すこと・聞くこと」の内容で、数学では、「データの活用」の領域で全国平均を上回るなど成果が見られました。

一方、国語では、「読むこと」や「我が国の言語文化に関する知識・技能」の内容、数学では「図形」や「関数」の領域に課題が見られました。

なお、今年度、正答率（全国との比較）等から成果と課題が見られた問題は以下のとおりです。

【国語】

- 話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめる問題（正答率 51.5%【全国44.7%】）
- 目的に応じて必要な情報に着目して要約する問題（正答率 34.8%【全国42.6%】）
- 行書の特徴を理解する問題（正答率 70.1%【全国75.6%】）

【数学】

- 複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較する問題（正答率 54.5%【全国48.5%】）
- 筋道を立てて考え、証明する問題（正答率 13.6%【全国25.8%】）
- 一次関数について、式とグラフの特徴を関連付けて理解する問題（正答率 56.1%【全国 65.3%】）

〔○成果、●課題〕

3 質問調査等から見える課題

算数・数学の学力向上(CD層)

学力CD層の割合が多い。(同一集団)
 ・小6算数…R6県平均との差-1.0
 ・中3数学…R6県平均との差+3.3
 ・小5算数…R5県平均との差+1.9
 ・中1数学…R5県平均との差-0.3
 ・中2数学…R5県平均との差+3.3

学習意欲の向上

「勉強は好きだ。(国、算・数)」
 ・小6国語…R6全国平均との差-1.0
 ・小6算数…R6全国平均との差+1.9
 ・中3国語…R6全国平均との差-2.1
 ・中3数学…R6全国平均との差-8.5

全国学力・学習状況調査及び
 福岡県学力調査結果より
 (全国・県平均との差)

基本的な生活習慣等

「1日当たりどれくらいの時間、SNSや動画視聴をしますか。(2時間以上の割合)」
 ・小6…R6全国平均との差+13.2
 ・中3…R6全国平均との差+8.2

学びを調整する力の育成

「課題解決に向けて、自分で考え自分から取り組んでいるか。」
 ・小6…R6全国平均との差-3.7
 ・中3…R6全国平均との差-1.2

学校生活の充実

「学校に行くのは楽しいと思う。」
 ・小6…R6全国平均との差+1.1
 ・中3…R6全国平均との差-3.5

4 今後の取組

学力調査結果を基に、本年度後半において、中間市の小中学校では、以下のように取り組めます。

令和6年度 後半戦に向けた学力向上重点プラン

未来を切り拓く力をもつ子供を育てる学校教育の実現を目指して ～教え育てるから、学び育つへ～

家庭・関係機関との連携

iPad端末の家庭での活用促進

- ・AIドリル、タイピング練習アプリ・英語アプリ等の活用
- ・家庭への持ち帰りのルール作り

「ドリカムノート」の効果的活用

- ・学校での内容・方法に関する指導
- ・取組意欲を高める適切な評価

誰一人取り残さない授業づくり

子供主体で学び合う授業づくり

- ・問いや振り返りを重視した学習過程
- ・「引き出す」「つなげる」「深める」をキーワードにした授業づくり

ICT活用が根付いた授業づくり

- ・一斉・個別・協働学習におけるICTの活用
- ・発達段階に応じたICTスキルの育成

教員の意識・指導力の向上

校内研修の充実

- ・外部講師を招聘した研修の実施
- ・時間対効果(タイパ)を意識した研修の工夫

市内OJTの推進

- ・オンライン同学年会(小)、教科部会(中)の活性化

学力の基盤づくり

基礎・基本の徹底

- ・CD層の把握と支援・評価の充実
- ・「できる」を実感し、「わかる」を味わうドリル学習や過去問の計画的活用

学級経営の充実

- ・学級全体を対象としたユニバーサルな支援
- ・一部教科担任制の積極的導入

人権教育の充実

- ・人権の視点からの情報モラル教育の充実
- ・気になる子を検証軸に据えた人間関係づくり

要請訪問の充実による人材育成

- ・若年教員を中心とした継続的な授業改善支援
- ・モデル授業参観(市内及び管内・附属学校)の奨励

教育委員会の支援

- ・管理職等会議及び市教委主催研修の充実
- ・日常的な学校訪問における情報交換及び指導助言

学校組織マネジメントの強化

勉強の一番の成果は、もっと勉強したくなることです

